



一部金貳銭 廣告五銭一十行 印刷費五銭 電話掛金三銭 印刷費五銭
 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 東京毎日印刷所

刊夕日三十月八

今年は私の亡父の**新益**に當りませぬが、故人の遺志に基きまして、**提灯**其他お受けする事を御遠慮申上げ様と存じます。どうか惡しからず御承知下さいます様伏してお願ひ申上げます。

平町土橋(塩屋新宅) 山崎 恭平

當年は忘父の新益會に相當仕候へ共時節柄の事にて提灯等の御贈與品御辭退可申上此段悪しからず御諒承願上候

伊東 一

耳鼻咽喉科専門
 大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

御披露廣告
 砂利は時代の進展と共に益々需要を増し必要欠く可からざるもの、相成候事に鑑み需要家各位の御便宜に應じ度くと存じ小生僞今回砂利採取業丸谷商會の營業權を擔當する事と致し候就ては植田、四倉久之濱の各採取場より最寄りの停車場まで 専用軌道を敷設し専ら生産費低廉を計り最も安價と迅速を以て御貴命に應ずべく候間何卒多少に不拘御申付被下様御披露を兼ね御願申上候

高橋 龜松
 常盤線平驛前通り(平劇場前)

我が國の人口問題
 寄書 星野輝吉

(三)

日本人の移殖政策海外發展に就いては日本人自らの性向の中に存在する非適應性が今まで徹頭徹尾災ひひして、米國植民の場合を見ても生活程度の高い米人労働者は如何にしてもその低い邦人労働者と對抗することは出来ぬ、邦人労働者の生活は何時まで待つても同化されずと云つて米國政府は自國労働者の生活程度を引き下げてまでも人間に適用されたる此のグレンシャ

其の法則を破るに忍びないと云ふのが先年の排日問題の直因でもあり真相でもあり、更に日本人位執拗な執着心を持つ民族も少ない世界で一番奇麗だと思つてる振袖の女と此の世で一番美しいと信じてる年に一度の櫻の花を見たさに戀々として故里を離れ得ない日本人には移民能力と云ふものが全くゼロである、ブレッドライン以下の就職でも故里への執着を絶ち得ないやうした人々にヤレ満州へ、ヤレ南洋へ、ヤレ南洋へ、と後藤さんや藤山さんが百萬遍唱へて見た處で左程の反響は望み得ない、大正十年

の國勢調査は南北滿州を通ずる邦人人口を十七萬イクラかと報じてゐる又現在海外在留の日本人は滿州關東州を加算しても六十萬内外に過ぎない數十年の努力が僅かに此程度に止まるとすれば日本人の移民も情ない次第である、顧みて年々鼠算的に七八十萬宛殖えて行く人口と比較したならば實に大海へ目録の感があるのみならず大勢を透視すれば各國はその本土と云はず移民地と云はず吾人に求むる處のもの決して人の輸入ではない資本の輸入生産技術の輸入商品の輸入である (つゞく)

八月十三日替り
 市川百々之助主演
 時代劇 **伊達新三** 卷全

藤間林太郎、歌川八重子主演
 現代劇 **哀れ血の舞** 卷全

マキノ映壽、武井龍三、牧野正唯主演
 時代劇 **怪人狼** 篇中

チャップリンキートンの二人を日本の見物さす爲めあらゆる我國の有名人を活かす珍映 **スター王國** 五卷

直營 **有聲座**

盛夏に
 向く特別品價

結羽織.....五圓五拾錢
 全.....七
 白綿.....七拾五錢
 繪羽浴衣地三圓五拾錢
 手拭中形 八拾錢

最寄買ヒヨイ店 會社
中野吳服店
 電話六十七番

共濟院病
 院長醫學博士助川喜四郎
 內科 醫學博士藤井秀旭
 小兒科 醫學博士相澤信朝
 小兒科 醫學博士大澤潤家
 外科 醫學博士河合健造
 外科 醫學博士小池俊一
 外科 醫學博士松本實雄
 眼科 醫學博士長島寅雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄
 外科 醫學博士松本實雄

社會通俗映畫協會
 文化活映協會
小島興業部
 主任 芳賀紋次郎
 事務所 石城郡岩手町藤原
 出張映寫に應ず

平町紺屋町(縣社通り)
イウキ食堂
 味の評判
 オの部電話四六〇番

八月拾三日ヨリ貳拾日マデ

位碑、佛壇、佛具類
 中元 御贈答品
 夏物品見切特賣

和久井屋漆器店
 平町一丁目(電話四〇五番)

美味 經濟 **食料品陳列會**

八月
 十三日 時八
 十四日 時八
 十五日 時八
 十六日 時八
 十七日 時八
 十八日 時八
 十九日 時八

鹽屋 **山崎合名會社**
 營業部
 平町土橋(電話十番)

關西少女歌劇團を 公開するに就いて

時代思潮の流れは大人教育より先づ青少年の情操教育に如かずと識者が目醒めて来た、其現れは童話童話の普及發達となりお伽歌劇は今や教育的家庭的娛樂として發達進歩の道程を辿りつゝある折柄本社はお伽界の第一人者巖谷小波先生の顧問たる關西少女歌劇團を招き来る十五、十六兩日平塚場に於て主催公演する事に確定した、これ聊か社會の文化に貢献し且つ讀者諸君に對する奉仕的な微衷に外ならぬ、本社の意を諒とせられ御聲援あらん事を希ふ

主催 常磐毎日新聞社
後援 磐城時報社
同 磐城新聞社

八十歳の老婆が 消防手に交つて働く

然も十圓の寄付 氣の毒な身の上ばなし

過日石城郡豊間村大字沼の内の火災に當り一名の老婆が消防手に交り眞黒になつて甲斐々々しく消火に努力する様が人々の元氣を鼓舞して大事に至らしめず鎮火するを得た

然も其後

此火災が大さくならず済んだのは消防組のお陰だと云ふので婆さんは餘り豊でない財布の中から金十圓の寄附を同村役場に申込んだ、此奇特な婆さんは其名を鈴木シク(八)と云ひ同村字新街に住み幼少の頃から公共心に富んで明治廿六年

愛國婦人 會に入會し専心盡瘁した功勞に依り同會から表彰を受けた事兩

霧笛信號

工 目下試験中

石城郡豊間村鹽屋崎燈台の

霧笛信號は去る九日工事全く竣工し目下試験中である

郡平窪村小學校にては十四日午前九時から物故せる卒業生の追悼會を營む由

坑天井落下し 一名慘死二名重傷

藤原炭礦坑内の椿事

石城郡磐崎村藤原炭礦にて昨日午後一時頃後山夫渡邊シナ(三)が坑夫吉田右馬平(三)及び同人内縁の妻後山夫大塚キクエ(九)と共に新坑内にて掘進作業中突如長さ一間、幅五尺、高さ四尺の大落盤ありシナは潰されて眼球飛出した儘死亡、右馬平、キクエの若夫婦は身体數ヶ所に瀕死の重傷を負ふた

名濱町を中心とする經濟的の調査を行ひ完了の上内務省に申請の事となるが内務省の調査は十六年度に於て計上するは困難なので十七年度の豫算に計上して調査する事なるので小名濱港築港工事に着手するは地元の負擔關係が如何に順調に進んでも大正拾八年となる譯である

小名濱 商港の計畫

基本調査終了

小名濱商港計畫は漸く全國的に認められる事となつたが香取技手の基本調査もあと拾日を以て完了し知事の手許に提案される筈であるが縣では基本調査に基き小

越中大和を本場とする西瓜がゴロ／＼幾百幾千となく平地方に流れ込んで来た焼きつくばかりの炎天の下にひと休みしてあの中味の紅い水氣の多いのをすばりと割つて嚙ちり付いた時は實に忘れられぬ間屋筋で今年の相場をたづねて見ると小

平町人事

出生

△鎌田町四 鈴木鐵三氏四男重利
△紺屋町五二 青木目増氏長女照子

死亡

△白銀町七 舟生萬吉氏長女玉惠
△長橋町一五 近藤キキ(二二)
△五丁目五〇 當時榊太豐原郡豊原町石川ハル(二二)



南瓜のようかん

南瓜の洋かんを造りますには中位の南瓜一個、寒天一本半、砂糖廿匁、鹽少量、水四合位此れだけを用意致

しまして先づ南瓜の皮を薄くむき細くきざみサツトゆで砂糖二十匁、鹽少量を入れた煮込み、身の方はゆでゝこしておき、寒天は二時間程水にひたしておきます此度は寒天をしぼり四合の水と共に鍋に入れてよく煮とかし百五十匁の砂糖を入れて水ふるいでこして、更

本當の歌劇は萬人向 一家揃つての見物に

暑さを忘れて下さい 本社が諸君に推薦する

關西少女歌劇團

本社は今回關西少女大歌劇團を招ぎ磐城時報、磐城新聞兩社後援の許に十五、十六の兩夜中劇場に於て是れを公開する事となつた、平町にも従前来た曲馬團若しくは

天勝の 奇術その他

新派一行に於てたま／＼歌々なるものを試みるものもあつたが何れもそれ等は専門的のものではなく觀衆

歌劇の 第七期出身

であり本邦少女歌劇界の明星として矚目されて居る一團である、一体オベラといへば誰しも若い女性に豐麗

人々で あつてこれ

等の人も一度この歌劇に接する時眞の理解を持つ事が出来るであらう、即ち同一行は川崎本社長の恩師たるお伽界の泰斗巖谷小波先生を顧問に仰ぎ實際指導を受けた丈に純眞なる藝術的内容の豊富なるものを

關係上

團が北海道よりの歸途を擁し一行のマナーショーと種々折衝を試みた結果茲に開演を見るに至つた次第である



一行中の幹部連